

米国大使館広報・文化担当公使 ダニエル・アーンスト公使が遺愛に来て 下さいました！！

米国大使館広報・文化交流担当：ダニエル・アーンスト公使および在札幌米国総領事館広報文化外交担当：ジェフ・フリーマン領事、在札幌米国総領事館広報文化交流：多賀谷麻貴専門官、大使館広報文化交流部プログラム企画室：森万純通訳と共に11月25日(月) AM9:30に遺愛を訪問して下さいました。

最初にアーンスト公使は遺愛アリーナで、中高全生徒の皆さんにむけてスピーチをして下さり、その後、川嶋事務長の案内で校内見学、井上教頭・井本教頭の案内で授業見学をしました。高3英語科でのパメラ先生・ジェス先生の英会話授業（ディベート&ディスカッション）、高1特進クラスでの清水先生の数学授業、高2一般コースでの中村先生の地理の授業を見学していかれました。授業後の対談の際に、印象を聞きますと、「とても熱心に一生懸命学んでいる姿に感銘を受けました。アメリカではこうはいきませんね。とてもにぎやかです。」とお話されていきました。また、女子教育について質問すると「アメリカでも女子校、男子校はあります。一時、女子大学が学生減で厳しかったのですが、同窓生への働きかけも効を奏し、見事に復活したところもあります。」とのこと。「ぜひ、アメリカの中学高校と姉妹校関係となり、良き交流をされるといいですね。お手伝いしますよ。」と語ってくれました。大統領が来年1月には交代しますが、今後の日米関係はどうなりそうですか？と尋ねたところ、「アメリカにとって日本は大切なパートナーであることは変わりません。より交流を深めていきたいと思っています。」とのことでした。

創基150周年記念式典に在札幌米国総領事館からハフナー領事が来て下さいましたよ。アーンスト公使は、ハリス夫妻の来函以来、米国と古くから深い繋がりがある遺愛学院だからこそ、わざわざ訪問してくれたそうです。生徒さんたちが学業のみならずボランティア活動などにも熱心に取り組んでいることを知り、より良い社会を作るリーダーシップを称えてくれました。



アーンスト公使のスピーチ



森通訳とアーンスト公使

2024年11月30日（土）